

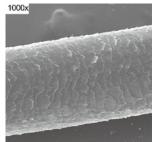
不具合原因調査をサポート

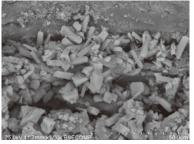
アサヒテクノリサーチでは全国各地よりクレーム品の原因調査及び混入異物の特定など、数多くの依頼実績があります。クレームについては迅速対応が求められることが多く、出来る限りお客様のご要望にお応えすることをモットーに業務に取り組んでおります。また、対象試料は食品異物、ゴム類、樹脂・プラスチック類、油脂類、鉱物等の無機化合物類に加え、金属破断原因調査と幅広い試料での調査実績があります。

画像の無断転載・無断使用は

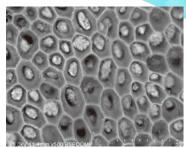
SEM(走査型電子顕微鏡)による観察

まずは、異物をSEMで観察し、異物の形状、付着状況を確認します。





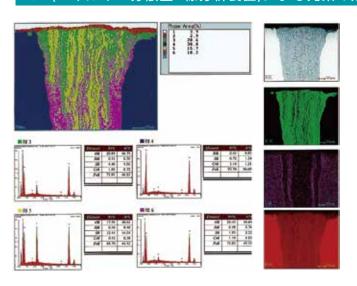




SEM(走査型電子顕微鏡)は肉眼では観察が困難な微小な物質を観察することが出来る装置です。

EDX(エネルギー分散型X線分析装置)による元素の定性分析

EDXで測定し、構成元素を定性します。

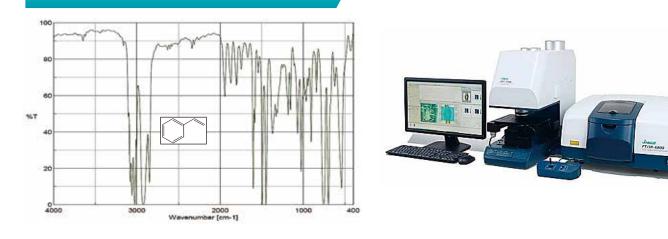




ご依頼からの流れ



FTIR(フーリエ変換赤外分光光度)により定性分析

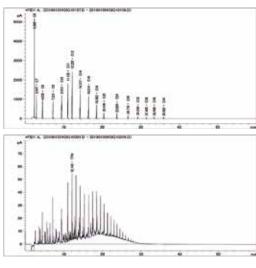


有機系異物の場合はFTIRで測定し、異物の推定や原因調査を行います。

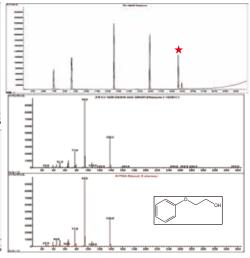


使用している画像は、 アジレント・テクノロジー(株) の許可を得て使用しています。 画像の無断転載・無断使用は固く禁じます。

油の定性分析(TPH)



GC/MS(質量分析計)による 定性分析とピーク解析



その他、油の定性分析はGCで、異臭及び排水中の揮発性有機化合物についてはGC/MSで測定します。

ご相談に応じ、各種異物解析、定性分析に対応いたします。まずはお気軽にお問合せください。

アサヒテクノリサーチ

FAX

(0827) 59-1800

L URL https://agi-atr.com シクリック!

